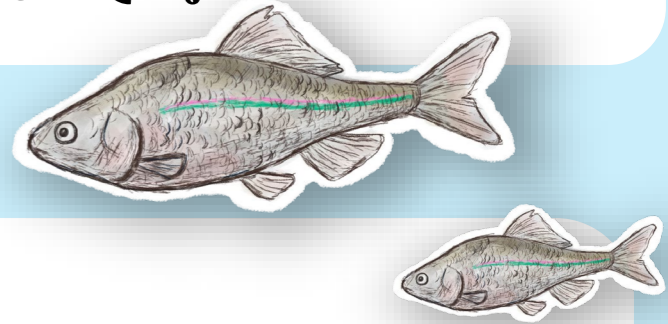


みんなで池干し2026 in 動物園

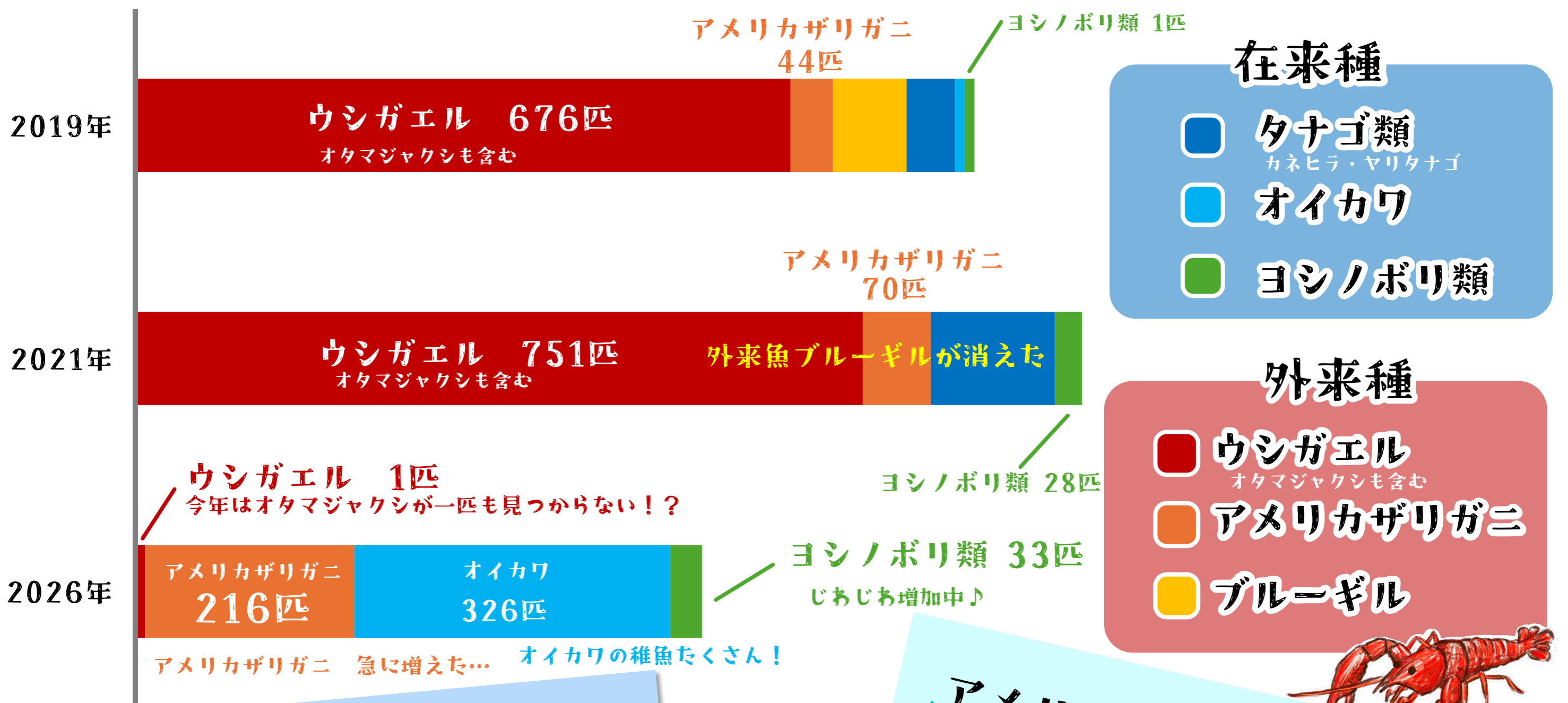
5年ぶりの

池干し大調査レポート！

2026年3月14日に「みんなで池干し2026 in 動物園」を開催しました。参加者の皆さんと噴水池の生物調査を実施。5年ぶりの池干しでは、生き物の種類が大きく変わっていました！



噴水池の生き物の変化



在来種

- タナゴ類 (カネヒラ・マリタナゴ)
- オイカワ
- ヨシノボリ類

外来種

- ウシガエル (オタマジャクシも含む)
- アメリカザリガニ
- ブルーギル



ウシガエルが1匹...!?

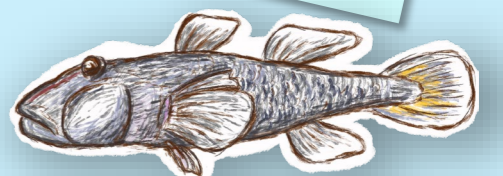
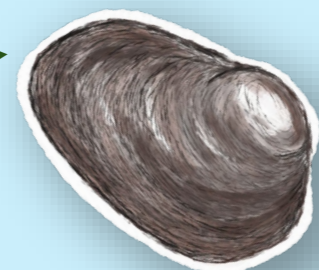
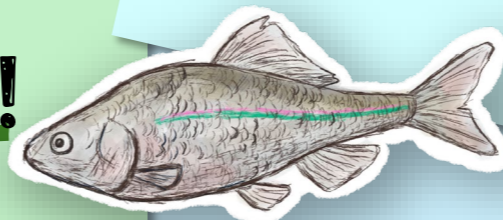
2021年には751匹いたのに、今年では成体1匹しか見つからなかった。継続的に行っていた卵の駆除の成果かな？

アメリカザリガニ増加中... アメリカザリガニを食べるウシガエルが減ったことで、数が増えたのかな？ ザリガニは池干し中、泥の中に潜ってしまうので池干しだけでは完全な駆除は難しい。今後、捕獲網の設置が必要かも...!

ヨシノボリ類が増えている！

ヨシノボリ類は、イチモンジタナゴの繁殖に欠かせない二枚貝の赤ちゃんが大きくなるために必要な魚。ヨシノボリが増えているのは、とてもいいニュース♪

イチモンジタナゴは二枚貝に卵を産み付ける



貝の赤ちゃんはヨシノボリに寄生して大きくなる

イチモンジタナゴがすすめる池を目指して！

目指すのは「イチモンジタナゴがすすめる池」。水質改善と外来種駆除を目的に、今回は池干しを実施しました。ヨシノボリの増加といった明るい成果がある反面、サイズは小さくなっているものの、アメリカザリガニへの対策など課題も残りました。イチモンジタナゴがすすめる池を目指して、これからも活動を続けていきます。